

第七十四回帝國議會
衆議院

明治三十五年法律第四十九號中
改正法律案(國勢調查ニ關スル件)

委員會會議錄(速記)第三回

付託議案
明治三十五年法律第四十九號中
改正法律案(國勢調查ニ關スル件)
(政府提出、貴族院送付)
恩給法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和十四年三月七日(火曜日)午後一時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 高橋 泰雄君

理事 中野治介君

齋藤 直橋君

山崎 常吉君

出席政府委員左ノ如シ

內閣恩給局長 平木 弘君

法制局參事官 樋貝 詮三君

陸軍主計大佐 大塚 彪雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

恩給法中改正法律案(政府提出)

○高橋委員長 是ヨリ開會致シマス、前會

ニ續キマシテ質疑ヲ續行致シマス、御質疑

ノアル方ハドウカ御發言ヲ願ヒタイト思ヒ

マス

○山崎委員 私過日ノ委員會ニハ、丁度他

ノ委員會ニ關係ガゴザイマシテ、得ウ列席

シマセズデシタノデ、過日ノ委員會ノ模様

ガ分リマセヌ、ソレデモ申シ兼ネマスガ、

最近ノ支那事變後ノ恩給分布ノ狀態ヲ御報

告願ヒタイト思ヒマス、ソレハ私共ガ聞ク

所ニ依リマスレバ、犠牲者ノ靈ヲ繞ツテ其

ノ御家内、或ハ親達、子供サント云フ方面

デ、今色々ノ悲喜劇ガアルト云フヤウナコ

トヲ豫々聞イテ居リマス、斯ウ云フヤウナ

狀況ガ御分リニナツテ居レバ、其ノ狀況ヲ

御聽キシタイト思ヒマス、ソレカラ此ノ問

題ガ、其ノ親權者トナルベキ者トナラザル

者トノ奪ヒ合ノ狀態ニナツテ、法律上ノ問

題ニモナリマシテ、争ハレテ居ルノガ相當

ニアルト思ヒマス、斯ウ云フ點ノ狀況ニ對

シマシテ、一應最近ノ御説明方願ヒタイト

思ヒマス

○樋貝政府委員 只今ノ御尋ノ極ク最近ノ

實情ト申シマシテハ、纏ツタモノモ分ツテ

居リマセヌガ、今御尋ノヤウナ場合ハ、陸

海軍カラ交付スル一時金ヲ繞ツテ起ル場合

モアリマス、ソレカラ扶助料ナドニ付テ起

ル場合モアルノデアリマス、尙ホ是ハ非常

ニ少イノデスガ、恩給ノ方ノ關係ノ一時金

ニ付テ起ル場合モアリマス、恩給ノ方ノ關

係ハ日露戰爭頃ニハ御承知ノヤウニ非常ニ

多カツタノデアリマスガ、大正十二年ノ恩

給法改正後ハ少シクナリマシタ、ト云フ

ノハゴタノシテ或ハ未亡人、或ハ親族ト

ノ間デ扶助料ヲ奪ヒ合フト云フヤウナコト

ガヤリ惡イ狀態ニナリマシタノデ、少シ少

クナリマシタ、隨テ今度ノ事變ニ於キマシ

テモサウ云フヤウナコトハ前カラ比較致シ

マス、餘程少イト云フコトハ想像サレテ

居リマス、今日マデ現ハレテ參リマシタ件

數ガサウ澤山アリマセヌノデ、ソレガドウ

云フ風ナ狀態ニナツテ居ルカト云フ全貌ヲ

知ルコトハ一寸難カシイノデアリマス、具

體的ニサウ云フ争ヒガ恩給ノ請求ノ方ニ遡

ツテ來タト云フヤウナコトハ、只今恩給當

局ノ方ニモ聽イテ見マシタガ、殆ド無イト

云フヤウナ狀態デアリマス、恐ラクハ陸海

軍カラ貰フ一時金ト云フヤウナモノニ付テ

サウ云フコトガアルノデハナイカト云フコ

トガ想像セラレマス、過日人事調停法ナド

ヲ出シマシタ場合ニ、アノ委員會ニ於テモ

サウ云フヤウナコトヲ屢、議員ノ方カラ仰

セラレタヤウナ譯デアリマス、サウ云フ實

情ガマダ役所方面トシテ十分ニ知ル所マデ

ニ至ツテ居ナイ、モウ一ツ手前ノ段階ニ相

當其ノ争ガアルノデハナイカト云フコトガ

想像セラレマスガ、役所ノ方マデ現ハレテ

來マシタ所デハ、サウ多イモノデハナイノ

デアリマスガ、多イデハナイカト云フコト

ヲ想像スルヤウナ他ノ事實ハナイデモアリ

マセヌ、ソレナヤウナ譯デ只今ノ御尋ニビ

ツタリ合フヤウナ數字ノ持合セハドウモア

リマセヌ

○山崎委員 私強イテ數字ヲ要求シタ譯デ

モアリマセヌガ、サウ云フ問題ガナイコト

ヲ喜ブノデアリマシテ、ナケレバ洵ニ結構

ニ存ジマス、併シナガラ事實斯ウ云フ問題

ガ各地方毎ニボツツアルト云フコトヲ耳

ニシテ居リマス、ソコデソレガ法律上ノ争

ニナラナイ前ニ、其ノ下ノ方デ解決スルト

云フコトハ洵ニ結構ナコトデアリマス、成

ルベクサウ云フヤウナ方法ヲ執ツテ、血デ

血ヲ洗フヤウナコトニナラナイヤウニト云

フコトヲオ互ニ心掛ケテ行カナケレバナラ

ヌト考ヘマス、併シ其ノ問題ハ親族間デハ

中々解決出來ナイ場合ガゴザイマスノデ、

公平ナル第三者ヲ中間ニ立テテ解決シナケ

レバイカヌト云フコトニナリマセウ、又第

三者の者デイケナイ場合ニハ、或ハ村デアレバ村役場デアルトカ、市デアレバ區役所トカ警察ト云フコトニナツテ來マス、併シナガラ問題ガ問題デアリマスノデ、何レガ扱ヒマシテモ、相當ニ扱ヒニクイ問題デアリマス、ドツチニ味方シテ宜イカ分ラナイノデアリマス、ソレデ斯ウ云フ問題ガ起ツテ來ネバ洵ニ結構デアリマスケレドモ、起ツテ來ナイト云フコトモ考ヘラレマセスノデ、斯ウ云フ問題ガ起ツタ場合ニハ、一體何處ガ其ノ仲介ノ勞ヲ取ツテ適正ナ方法デ進マセテヤルヤウナコトニナルカト云フコトノ中心ヲ決メテ置カナケレバイケナイノデハナイカ、其處へ行ケバ其處ノ言フコトハ肯カナケレバイケナイト云フコトニナリマスレバ、其ノ問題ガ起リマシタ場合ニ其處ノ言フコトハドウシテモ肯カナケレバイケナイト云フコトニナリマセウ、今之ヲ警察ニ持ツテ行ク者モアリ、或ハ役場ヘ持ツテ行ク者モアリ、區役所ヘ持ツテ行ク者モアルト云フヤウナコトデ區々デアリマス、此ノ點ハ今サウ急デハアリマセヌケレドモ、豫ネテ御研究ヲナサツテ置クベキデハナイカ、斯様考ヘテ居リマス、其ノ他ノコトニ付キマシテハ私マダ研究ヲ遂ゲテ居リマセヌカラ、又此ノ次ニ……

○高橋委員長 宜シウゴザイマス、此ノ際御諮ラ致シマスガ、過般本案提出ノ理由ヲ政府カラ伺ヒマシタ際ニ、是ハ現行恩給法第五十九條ダケノ關係デスガ、毎月下士以上ノ軍人若クハ文官ガ現行法ノ規定ニ依ルト俸給ノ百分ノ二若クハ百分ノ一ヲ納付スルコトニナツテ居ルノデアルガ、戰時若クハ事變ノ際ニハ部隊ガ移動スル關係カラ、中徵收事務ガ困難デアル、是ガ此ノ改正案ヲ政府ガ今回御提出ニナツタ理由デアルト伺ツテ居ルノデアリマス、此ノ機會ニ丁度陸軍ノ政府委員ノ方モ御出席ニナツテ居リマスカラ、現實ニ毎月ノ徵收事務ガ困難デアルト云フ事情ヲ參考ノ爲ニ伺ツテ置キタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ

〔贊成〕下呼フ者アリ

○高橋委員長 ソレデハ陸軍ノ政府委員カラ其ノ實情ノ詳細ヲ伺フコトニ致シマス——大塚政府委員

○大塚政府委員 只今御話ノアリマシタ點ニ付キマシテ私カラ御説明ヲ申上ゲマス、戰時戰地ニ於キマスル將兵ニ俸給給料ヲ確實ニ支給スルト云フコトハ、内地ニ於キマシテ私共ガ考ヘテ居ルノトハ非常ニ違ヒマシテ、俸給自體ヲ支給スルコトガ非常ニ難シイノデアリマス、ト申シマスノハ、御承

知ノヤウニ戰況ニ依リマシテ戰死者ガ澤山出ル、又戰病者モ出ル、是等ノ者ガ後方ヘ退リマシテ病院ニ入ツテ居ル、或ハ行衛不明ニナルト云フヤウナ點ガアリマシテ、實際自分ノ隊ノ將兵ガ確實ニ何處ニ居ルカト云フコトヲ全部知リマシテ、之ニ支給スルト云フコトガ第一ニ非常ニ困難デアリマス、之ニ加ヘマシテ此ノ仕事ニ當ツテ居リマスル者ガ大部分召集ヲ受ケマシタ將校若クハ下士官デアリマス爲ニ、平時是等ノ規則ニ極メテ不精通デアルト云フヤウナ點カラ致シマシテ、中々規則ガ能ク分ラナイ、又第三ニハ出納官吏ト云フ身分ヲ持ツテ居リマス爲ニ、會計法上ノ辨償ノ責任ヲ持ツテ居ルト云フヤウナ點カラ致シマシテ、此ノ取扱ガ時ニ慎重ニ失シマシテ、間違ヒノナイヤウニ支給シタイト云フ考カラ、支給ガ中中迅速ニ行カナイト云フヤウナコトガアリマシテ、現實ニ戰地カラ内地ヘ歸リマシタ將兵等デ、數箇月ニ互ツテ給料ヲ戴カナイデ來テ居ル者モ現ニアツタノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトカラ致シマシテ、入院患者ノ中ニハ自分ハ數箇月ニ互ツテ國家カラ給料ヲ戴イテ居ラスト云フヤウナ不平ヲ漏ラシ、一部ニハ經濟上ノ點カラ處罰ヲ受ケナケレバナナイト云フヤウナコトガ

起ツタコトガアルノデアリマス、其ノ上ニ此ノ俸給ノ中カラ恩給ノ國庫納金ヲ差引イテ渡スト云フコトガ更ニ手數ヲ加ヘル譯デアリマシテ、御承知ノヤウニ此ノ國庫納金ハ恩給法ノ定ムル所ニ依リマシテ、毎月之ヲ徵收致シマシテ國庫ニ納付スルモノデアリマシテ、軍ニ於キマシテハ平時及ビ戰時ト雖モ内地部隊ニ於キマシテハ歳入徵收官又ハ收入官吏ニ於キマシテ毎月之ヲ取立テマシテ、會計法ノ定ムル所ニ依ツテ日本銀行ニ納付ヲ致シテ居ルノデアリマス、所ガ戰時戰地ニ於キマシテハ日本銀行ノ設ケガアリマセヌ爲ニ、收入官吏ノ取立テマシタ國庫納金ハ收入官吏ガ自ラ日本銀行ニ納ムルコトガ出來ナイバカリデナク、會計法上收入官吏ニ於キマシテ其ノ儘保管シテ置クコトモ許サレマセヌノデ、軍ニ於キマシテハ前渡資金ニ差繼整理ヲスルト云フ特殊ノ便法ヲ採ツテ居ルノデアリマス、此ノ前渡資金ニ差繼整理ヲスルト云フ方法ハ、現金ヲ動かサナイデ戰地ト内地トノ間ニ納金事務ノ決濟ヲ終ラセルト云フ特殊ノ方法デアリマシテ、戰地ニ在リマスル各收入官吏カラ毎月國庫納金ヲ徵收致シマシタ時ハ、其ノ金額ノミヲ歳入徵收官ノ許ニ通報ヲ致サセマシテ、歳入徵收官ノ手許デ一手ニ日本銀行

ニ納付ヲ致シマシテ、別ニ各收入官吏ノ通報シタ金額ト同ジ金額ヲ支出官カラ支出ヲ致シマシテ、前渡資金トシテ戦地ノ資金前渡官吏へ送金スルコトニ整理ヲ致シマシテ、此ノ支出シタ小切手ヲ以テマシテ歳入徴收官ハ日本銀行ニ納付スル、斯ウ云フ仕組デアリマス、大變混ミ入ツテ居リマスノデ、圖面デ簡單ニ只今ノ點ヲ御説明申上ゲタイト存ジマス

只今申シマシタ各部隊ニ於キマスル給料ヲ渡ス官吏ガ此ノ分任官、是デアリマス、此ノ分任官ハ只今申シマシタヤウニ、俸給ヲ差引キマシテ收入官吏ニ國庫納金ノ交付ヲ致シマス、實際ハ此ノ收入官吏カラ此ノ組替ニ依リマシテ分任官ノ許ニ此ノ收入金ヲ差繼ヲスル、差繼ヲスルノガ現實ハ斯ウ云フ風ニ動クノデアリマス、實際ノ整理ハドウナルカト申シマス、分任官カラ、國庫納金ヲ差引キマシタナラバ、ソレダケニ相當スル金額ヲ分任資金前渡官吏、是ハ大抵師團ニ居ルノデアリマスガ、此處カラ資金ヲ貰ツタコトニシ、此ノ師團ノ分任前渡官吏ハ更ニソレダケヲ内地ニ居リマス支出官カラ、金ヲ貰ツタコトニスルノデアリマス、支出官ハ是ダケノ金額ヲ歳入徴收官ニ小切手ヲ切りマシテ納メル、サウシテソレ

ヲ日本銀行ニ拂込ム、斯ウ云フ徑路ヲ辿ルノデアリマス、又片方ニ於キマシテ收入官吏ハ金ヲ納メマスカラ、其ノ報告ヲ分任收入官吏ニ致シマシテ、分任收入官吏カラ又歳入徴收官ニ報告ヲシマシテ日本銀行デ之ヲ締括リヲスル、斯ウ云フ形ニナルノデアリマス、是ガ手數デアルト申シマス點ハ、是ハ事務ニ關スル事デアリマスガ、分任官ハ金ヲ拂ツタト云フ現金出納上ノ整理、ソレカラ整理簿、是ハ元帳ニ相當スルモノデアリマスガ、此ノ整理ヲシナケレバナラヌ、ソレカラ書類ヲ作りマシテ、只今ノヤウニ前渡金ノ差繼ニ關スル整理ヲスル、收入官吏ニ於キマシテモ此ノ現金出納簿及ビ整理簿ニ國庫納金ノ受拂ノ整理ヲ致シマス、又逐時都度報告書ト月次報告ト云フモノト、納金額表ヲ作りマシテ、歳入徴收官ニ報告ヲシナケレバナラヌ、組替ノ現實ノ整理ニ付キマシテハ、ヤハリ此處デ現金出納簿ト整理簿ニ二回付ケマシテ、收入金差繼書ト云フモノニ依リマシテ、之ヲ分任官ノ方ニ納メル、此處デ又整理ヲ二回シナケレバナラヌ、之ヲ只今提案サレテ居リマサルヤウナ改正法案ニナリマスルト——現行ニ於キマシテハ帳簿ニ記載スル回数ガ九回デアリマスガ、ソレガ改正案ニ依リマス

二回ニナル、又證書ノ紙數ト言ヒマスガ、證書ヲ作ルノモ、正ノ證書ヲ現在ニ於テハ十三通、副ヲ十二通作ツテ、斯ウ云フ整理ヲ致シテ居リマスガ、改正ニナリマスレバ、正ノ證書ガ一通、副一通ト云フ風ニ減ツテ行クノデアリマス、戦時倥傯ノ際ニ於キマシテ之ヲ極メテ簡單ニスルト云フコトニ相成ルノデゴザイマス、只今申上ゲマシタヤウニ、此ノ手續ガ非常ニ面倒デアリマス爲ニ徴收事務ヲ複雑且ツ難解トスルモノデアリマス、特ニ戦時ニ於ケル是等ノ徴收事務ヲ取扱ツテ居リマスル出納官吏ハ現在一万數千人ニ上ツテ居ルノデアリマス、是等ノ出納官吏ハ作戦行動上一地ニ固定スルコトハナイノデアリマス、隨ヒマシテ相互ノ通信連絡ガ不可能ト云フ場合ガ極メテ多イノデアリマス、其ノ事務ヲ取扱ヒマス出納官吏ノ大部分ハ先程申上ゲマシタヤウニ、金錢事務ニハ不慣レデアリマス召集者ガ取扱フノデアリマスカラ、辛ウジテ俸給、給料ノ支給業務ニ堪ヘ得ルト云フヤウナ状態デアリマス、又通信連絡ガ不十分デアリマサル戦地ニ於キマシテ、毎月一万數千人カラ徴收ヲ致シマシタ國庫納金ヲ歳入徴收官ニ通報スルト云フコトニハナツテ居リマスガ、現實ニ通報スルト云フコトハ又極メテ困難

デアリマス、事實上ニ於キマシテハ徴收ヲシ得ナイモノ、或ハ通報致シマシテモ途中ニ於キマシテ其ノ通報ガ紛失スルト云フモノ等ガアリマシテ、徴收事務ト云フモノハ現實ニハ完全ニハ行ハレテ居ラナイヤウナ現況デゴザイマス、此ノ結果徒ニ不慣レデアリマスル出納官吏ノ金錢事務ヲ滯滞致シマスルカラ、戦時ニ於キマシテハ此ノ國庫納金ヲ免除シテ戴キマスレバ、是等ノ複雑ナル事務ト云フモノハ非常ニ簡單ニ相成ル次第デゴザイマス

○高橋委員長 ソレデハ御質疑ガアリマセヌケレバ此ノ程度デ今日ハ散會ヲ致シタイト思ヒマス、次會ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス

午後二時十五分散會

昭和十四年三月七日印刷

昭和十四年三月八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局